

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 茨木ビル	階数	地上7F
建設地	大阪府茨木市双葉町387-3	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年5月 予定	評価の実施日	2013年11月26日
敷地面積	1,038 m ²	作成者	株式会社竹中工務店 松波圭亮
建築面積	822 m ²	確認日	2014年3月17日
延床面積	4,300 m ²	確認者	株式会社竹中工務店 千田尚一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.3**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 ・西日を遮り自然採光を活かす外壁をデザイン ・生物多様性に寄与する緑化計画 ・全館LED照明の採用、節水・防汚型便器の採用、高効率機器の採用、全熱交換器の採用などの導入による省エネ対策 ・メンテナンスに配慮した機器選定	その他 建物上階をセットバックさせ、周辺建物との調和を図っている。	
Q1 室内環境 在館者検知、上下温度ムラの無い運転が可能な空調機器を選定し、必要に応じて、冷暖フリー等の個別制御、室外機を分散させることにより、ゾーニングを細かくできるよう計画した。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い機器、材料の選定。メンテナンス時には躯体の変更は伴わない計画とする。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の前面道路側と建物屋上を緑化し、周辺地域へ良好な環境を提供している。
LR1 エネルギー 中間期には建物内へ積極的に自然通風を促すよう、南側外壁は引違窓で計画をしている。	LR2 資源・マテリアル 磁器質タイルを外壁材に採用し、内装はF☆☆☆☆の材料を全面的に採用している。	LR3 敷地外環境 建物利用者の想定数以上の駐車場、駐輪場を敷地内に確保し、交通負荷を抑制した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)茨木ビル		
	建設地	茨木市双葉町387-3		
	用途/区分	事務所		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			3
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
	LED照明	全館LED照明の採用		
特に配慮した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・西日を遮り自然採光を活かす外壁をデザイン ・全館LED照明の採用、節水・防汚型便器の採用、高効率機器の採用、全熱交換器の採用などの導入による省エネ対策 ・メンテナンスに配慮した機器選定 			